

NEWS RELEASE



国土交通省

国土交通省 近畿運輸局

問い合わせ先
近畿運輸局交通政策部バリアフリー推進課
(担当) 奥田・上浦
(電話) 06-6949-6431

令和6年3月22日

第17回 国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰 ～ 受賞 ～ 「姫路市」「株式会社商船三井・株式会社商船三井さんふらわあ」

国土交通省では、国土交通分野におけるバリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人又は団体を表彰し、バリアフリー化に関する優れた取組みを広く普及・奨励することを目的として、「国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰制度」を平成19年度に創設しました。今般、第17回目となる受賞者を決定し、下記のとおり表彰式を開催します。

記

1. 表彰式

(1) 記念講演会

日 時：令和6年3月26日（火）15：00～

場 所：国土交通省10階共用会議室A（大ホール）

東京都千代田区霞が関2-1-3 中央合同庁舎3号館

内 容：・選考委員（別紙1）からの講評

・受賞団体から取組内容のプレゼンテーション

(2) 表彰状授与式

日 時：令和6年3月26日（火）16：10～

場 所：国土交通省4階幹部コーナー会議室1

東京都千代田区霞が関2-1-3 中央合同庁舎3号館

内 容：大臣より表彰状の授与予定

2. 受賞者

○姫路市

- ・市内31駅周辺の一体的整備プログラム策定と鉄道事業者及び地域との連携によるバリアフリーの推進

○株式会社商船三井・株式会社商船三井さんふらわあ

- ・多様な乗船客に対応した、新造船とフェリーターミナルのユニバーサルデザイン化への挑戦

※ 受賞内容の詳細は別紙2のとおりです。

※ 取材・傍聴ご希望の方は、令和6年3月25日（月）17時までに、所属、氏名、連絡先、取材・傍聴希望の旨を以下メールアドレスにご連絡ください。なお、一般の方は（1）のみ傍聴可となります。

●表彰式に関する問い合わせ先

国土交通省総合政策局バリアフリー政策課

TEL 03-5253-8111（代表）内線25505、25522（中島、三浦）

03-5253-8304（直通）

メール：hqt-sousei-barrierfree★gxb.mlit.go.jp（「★」を「@」に置き換えてください）

※ 国土交通省においても同時刻に資料配付しております。

配布先

青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、陸連記者会（ハイタク部会）、海事関係業界、観光関係業界、兵庫県政記者クラブ

国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰 選考委員一覧

(敬称略・順不同)

秋山 哲男 [委員長] (中央大学研究開発機構教授)

高橋 儀平 (東洋大学名誉教授)

新田 保次 (大阪大学名誉教授)

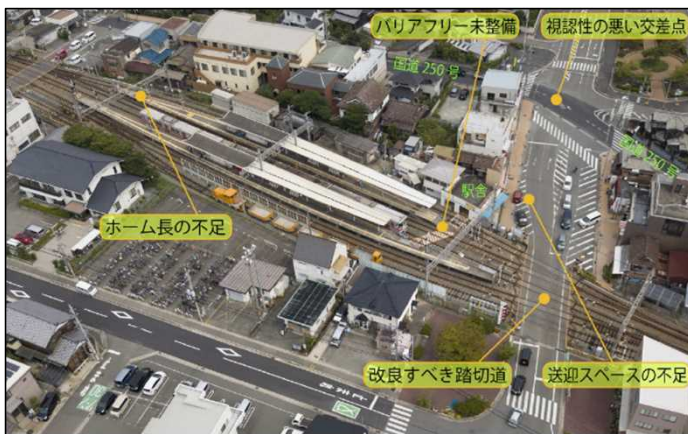
河野 康子 (一般財団法人日本消費者協会理事)

姫路市

市内31駅周辺の一體的整備プログラム策定と鉄道事業者及び地域との連携によるバリアフリーの推進

●取組の概要

姫路市内に31駅ある鉄道駅のバリアフリー整備を効率的に進めるため、全駅を対象に整備すべき内容を盛り込んだ「姫路市鉄道駅周辺整備プログラム」を策定し、鉄道事業者をはじめ地域住民や地元企業及び自治体が連携・協力することにより、鉄道駅のバリアフリー化のみならず、駅周辺の利便性向上と持続可能なまちづくりにも取り組んだ。



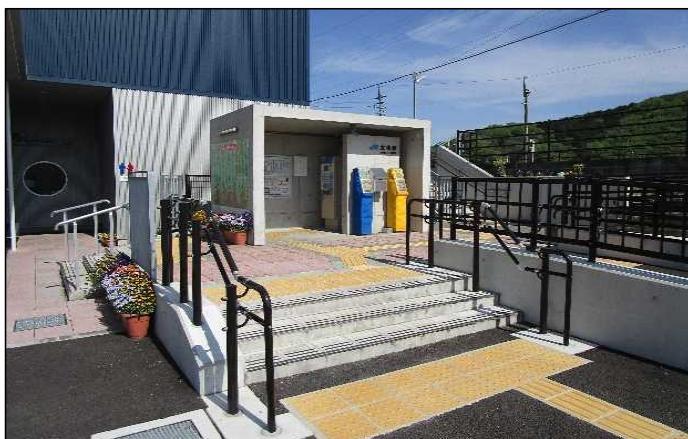
【整備前】

鉄道駅周辺整備プログラムに沿って整備した大塩駅



【整備後】

なかでも、^{おおいち}太市駅においては、①老朽化した駅舎のコンパクト化を計画していた鉄道事業者、②駅前等の立地条件の良い場所への移転を計画していた民間企業、③駅周辺のまちづくりによる地域の活性化を希望していた地域住民、④鉄道駅を中心としたコンパクトなまちづくりを推進する姫路市、の4者が連携し、駅舎のコンパクト化にあわせて、駅前に民間企業が新社屋を建設し、駅利用者が利用可能な待合所やバリアフリースイレを提供することとしたほか、特産物の販売イベントを開催するなど、バリアフリー化に加え持続可能な地域の活性化が実現した。



コンパクト化された太市駅の駅舎と隣接する民間企業のバリアフリースイレ



太市駅に隣接する民間企業で開催されているイベント

株式会社商船三井・株式会社商船三井さんふらわあ

多様な乗船客に対応した、新造船とフェリーターミナルのユニバーサルデザイン化への挑戦

●取組の概要

旅客船の建造にあたって、利用者アンケート結果や障害当事者の乗船体験時等にいただいた意見を反映し、車いす使用者がターミナルの発券カウンターに立ち寄ることなく乗船を可能とし、座ったまま扉の開閉が可能となる二次元バーコード乗船システムを採用したほか、船内にキッズトイレ、ベビーケアルーム等を整備するなど、バリアフリー化に加えて多様な乗客ニーズに合わせた環境整備を実施した。



新造船「さんふらわあくれない」



スイートバリアフリールームの
二次元バーコード自動開閉ドア

新造船就航にあわせて新設された別府の旅客船ターミナルの整備にあたっては、障害当事者も参画する協議会を設立し、障害特性ごとに実施したヒアリング結果等を踏まえ、屋根付き駐車スペースを整備し、うち2台は駐車・出庫しやすいスルー型とした。他にも、ベビーケアルーム、補助犬用トイレ、カームダウン・クールダウンルーム等を整備するなど、旅客船と同じく、多様な乗客ニーズに配慮した。



フェリーターミナル 屋根付きのスルー型駐車スペース



フェリーターミナル 補助犬用トイレ